

2017年2月17日

防衛大臣 稲田 朋美 様  
沖縄防衛局長 中嶋 浩一郎 様

衆議院議員 照屋 寛徳

社会民主党沖縄県連合 執行委員長 照屋 大河

外来機による嘉手納基地旧海軍駐機場使用に対する抗議申し入れ

去る2月7日から10日にかけて、米本国から飛来したKC135空中給油機やF22戦闘機、C146A特殊任務機などの米空軍機が、嘉手納基地の旧海軍駐機場を使用した。

嘉手納基地における海軍駐機場の移転は、騒音や排ガスなどの異臭による周辺住民の負担軽減を目的に1996年のSACO最終報告「騒音イニシアティブの実施」に盛り込まれたものである。20年余の年月を経て、今年1月21日によりやく全機が新駐機場に移された。

今般の外来機による旧海軍駐機場使用は、その矢先の出来事である。報道によると、沖縄防衛局が米側に即日抗議文を送った翌日にも駐機があったようだ。明白なSACO合意違反であることはもとより、周辺住民の期待を裏切るもので、断じて容認できない。

以上、県民・国民の生活環境を守る立場から強く抗議するとともに、いかなる状況であれ、二度と旧海軍駐機場を使用させないよう米軍の確約を取り付けることを申し入れるものである。

以上